

芹 沢 銈 介 美 術 工 芸 館

特別展「花もたじろぐ染の花 — 芹沢銈介の型絵染 —」

2013年9月26日(木)～12月21日(土)

芹沢銈介（1895－1984）は、日本の伝統的染色技法である型染を用い、創造性の高い文様を創り続けました。民藝運動の創始者で、芹沢にとって生涯の師であった柳宗悦は、型紙を用いて表現する芹沢の染文様を花にたとえ、実際に咲く花よりも花らしい、「花もたじろぐ染の花」と評しました。芹沢文様の根幹は、スケッチを入念に行い、モチーフの本質をとらえるところにあります。それを基に下絵を描き、型紙を彫りますが、下絵通りではなく、自身の頭の中に浮かぶ文様をそのまま型紙に写すかのように小刀で彫り進めました。

今回は、芹沢の代表的な着物やのれん、屏風など、当館と柏市（千葉県）所蔵の作品を展示し、染めの工程を分かりやすく紹介します。

◆学芸員によるギャラリートーク

12/21(土) 11:00～ ※自由参加

◆ワークショップ

「かんたん！型染体験・コースター作り」

会期中の毎週土曜日

開始時刻 ①11:00～ ②12:30～ ③13:30～

④14:30～ [約50分・各回定員10名]

材料費 350円

●開館時間 10:00～16:30(入館は16:00まで)

●休館日 日・祝日、12/15(日)は開館

●本学学生は無料です。学生証を提示の上入館してください。

問合せ TEL: 022-717-3318

<http://www.tfu.ac.jp/kogeikan>

お知らせ 12/22～2014年1/20まで展示替えの
為休館します。1/21～は「芹沢銈介の型絵小
品」を開催します



芹沢銈介作「牡丹文のれん」
木綿地型絵染 1962年
柏市所蔵